



清々しい秋晴れとなった 10 月 23 日(日)、小田原市役所 7 階大会議室にて第 5 回市民ホール基本計画市民検討委員会が行われました。第 5 回は市民委員 33 名、(女性 12 名、男性 21 名)、市の事務局スタッフ 9 名、その他の事務局スタッフ 4 名、市民ホール基本計画策定専門委員会から松森委員、勝又委員、伊藤委員の 3 名、合計 49 名が参加しました。

急遽追加の検討委員会となった今回は班ごとに第 3 回、第 4 回の議論の中で足りなかった所を中心に、引き続き市民ホールに求められる機能を考えていきました。

第 5 回 「市民ホールに求められる諸室や機能を考える③」

第 3、4 回に引き続き、市民ホールに求められる諸室や機能についての検討を行いました。今回は班ごとに第 3、4 回で足りなかった部分、複数の意見がでていたところを整理していきました。また、ホールの景観やエコ対策、防災対策、バリアフリーなどについても各班から意見がでました。

1 班



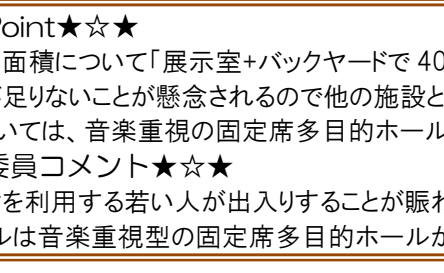
★★★Point★★★

財団を設立しホールの運営を行う提案がされました。運営についてはホールの開館を待つのではなく、今からでも市民会館や生涯学習センターけやきの展示室を利用して、できることを始めたいという意見が出されました。また、景観や防災、エコについての対策も求められました。

★★★委員コメント★★★

- ・ホールという建物は一度つくると何十年も目にするようになるので、景観は非常に重要だと思います。
- ・財源やスペースには限りがあるので、どうしても知恵と工夫で対処しきれない部分を補える設備が必要かと思います。

2 班



★★★Point★★★

展示室の面積について「展示室+バックヤードで 400 m²は必要」という意見がだされました。また、スタジオは稼働率が低いこと、敷地面積が足りないことが懸念されるので他の施設との役割分担をして、整備は必要ないのではないかという提案がされました。小ホールについては、音楽重視の固定席多目的ホールではどうかという見解にまとまりました。

★★★委員コメント★★★

- ・スタジオを利用する若い人が出入りすることが賑わい創出となる可能性もあるので、その点も合わせて考えてはどうでしょうか。
- ・小ホールは音楽重視型の固定席多目的ホールが提案されましたが、今の技術では多目的でもしっかりと音響を担保できます。



3 班



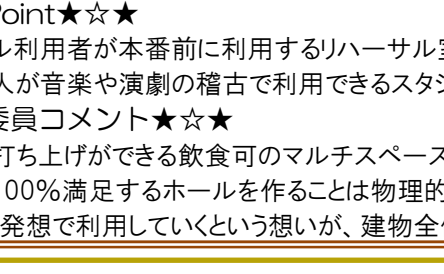
★★★Point★★★

創造支援系の施設として、サポートセンターの併設や打合せや会議など、ワークスペースとして利用できる場所が求められました。展示室については「展示室 400 m²+バックヤード 200 m²=600 m²」が求められました。また、中の活動を外に伝え、通りやまちにホールの賑わいを見せていくことで可能性を広げていく提案がされました。

★★★委員コメント★★★

- ・賑わいをホールの外に伝えるということはとても大事です。建物の中にまちを持ち込む設計が必要になってくると思います。
- ・市民の皆さんが楽しそうに活動していることが、ホールをまちに開いていくことになるので、とても重要な視点だと思います

4 班



★★★Point★★★

「大ホール利用者が本番前に利用するリハーサル室」と「市民が自由に使えるマルチスペース」の両方の整備が求められました。また、若い人が音楽や演劇の稽古で利用できるスタジオの整備や、展示室 400 m²+バックヤード 200 m²の展示室も提案されました。

★★★委員コメント★★★

- ・簡単な打ち上げができる飲食可のマルチスペースがあると使い勝手が良いと思います。
- ・誰もが 100%満足するホールを作ることは物理的に不可能なので、何でもできる場所をつくり、市民の皆さんがその場所を利用して自由な発想で利用していくという想いが、建物全体を活かすことになると思います。



4 班

★★★市民ホール基本計画策定専門委員ミニレクチャーの内容をご紹介します★★★

勝又委員 ～第 3 回専門委員会会議内容と今後の検討について～

- ・ 第 3 回専門委員会の感想ですが、市民の皆さんの意見が分かれているように、専門委員の間でも意見が分かれている部分があります。「できるだけ皆さんに使いやすい」と考えていますが、全て 100%と言えない部分があります。
- ・ 劇場は相反する部分が多々あります。例えばゆったりとした客席を作れば舞台から遠くなってしまいますし、客席の 3 階席が怖いという意見もありますが、舞台までは近くなります。様々な選択肢があるので、こういったことを問題だと思わず、楽しんで考えて頂きたいと思います。

伊藤委員 ～神奈川県立音楽堂の諸室と活用方法について～

- ・ 音楽堂には最低限の設備しかなく、足りないところは工夫して運営しています。ミニマムな例としてご参照ください。
- ・ 楽屋は和室 1 室(6 畳)、洋室 4 室(大 2、中 2)、リハーサル室(90 m²、40 名程度、グランドピアノ)があります。人数が多く楽屋が足りない場合は、リハーサル室を楽屋として利用します。また、和室楽屋が 1 室しか無いため、古典・伝統芸能系は洋室に畳を敷いて対応しています。
- ・ リハーサル室は楽屋の中に付随しているので、ホールを借りると自動的に利用可能になります。本番前の音出し・声出しはリハーサル室で行います。また、2ヶ月前に舞台に何も催しが無い場合は、リハーサル室のみの貸出もおこなっています。
- ・ 音楽堂を継続的に利用し、定期的に打合せがある団体には、事務所の棚などの一部を貸出しています。

松森委員 ～使いやすいホール、求められるホールについて～

- ・ ホールでイベント制作を行っている立場から見ると、使いやすいホールと使いにくいホールがあります。主催者側からすると、何事も時間のかからないホールは非常に使いやすいです。例えば、搬入動線が他の場所と重なっていない、スタッフの動線と観客動線がしっかり分かれている、といったことが上げられます。
- ・ 理由は、時間がかかるとホール使用料や人件費なども多くなるためです。そういった細部に配慮できているホールが、市民の皆さんが利用しやすいホールになります。
- ・ 何を目的にホールを運営するのか考えたときに、ホールごとの特徴がでてくるのが創造・支援系の部分になります。例えば、あちこちにホールを訪れた人が座れるイスが置いてあるホールでは、そこを利用する人がいるので自然な賑わいができます。皆さんがホールに集まって創造する、ミーティングすると考えたときに、どの様なものがあつたらいいかを考えていただければいいと思います。

ワークシートのふせん内容をご紹介します

1 班

【大ホール】大ホール、搬入口は短く、巾は広く、トラック(11t)の横付きを可能な道路を！／大ホール、舞台を広く！ オーケストラは 100 人、合唱等は 200 人可能な広さを是非確保！！／大・小ホール使いやすさを重視、搬入時間等スタッフの体力をそこなわない様に

【小ホール】小ホールは大ホールの小型、しかしムダのない使い易さを求める／小ホールは演奏、演劇専用にて特化(固定椅子です) 他は第 2 小ホールは平土間で多目的用に／小ホールの利用者、小田原市以外で活動せざるをえない環境にいる団体の声を聞いてほしい／いわゆる小ホールは固定席だと、そうでない空間の使い方が出来なくなる訳だが、それでいいのか？空間の使い方としては、幅広い発想で行くべき→可動席スタイル or 平土間／展示の行われているときのワークショップや作家と語る会とかを行う小ホールの在り方。／小ホールの「モンダイ」はサジが投げられて以来、まだまとまっていないので今後も…。簡単にまとまるようなモンダイではないだろう。稼働率、コストも含め、詰め！！／“小田原おもてなし隊”のようなチームパフォーマンス集団を作って小ホールで定期公演(笑)

【舞台設備】音響、大道具、照明、制作のプロの方々に「こういうホールが使いやすい」「こういうホールが嫌」というのをアンケートとか取って、プロの意見を集めるのも大切だと思います。

【展示室】展示室は展示専門としてほしい。ゆえに第 2 小ホールのことが存在する。／水場には流す水がゴミが流れないようにアミをつけられるように！／展示スペースで何か別のイベントをやる場合、最低の音響システムが必要。その手の空間は「音」がヒドイ事が多い。「音楽」をやることを前提に。

【創造系】市民へ貸出可能なミーティングルーム、防音スタジオを作る(創造・支援・交流)／工作室はケヤキにあるのでこちらで！／工作室にかわるものを、ケヤキにあるものをもっと充実して利用する／現市民会館に工作室や駐車場、アトリエ、スタジオ、練習室をついたら／練習スタジオ 小…ピアノ、バンド(ドラム含む) 楽器(個人、アンサンブル) 声楽(1人～少人数) 中…たいこ、ダンス(少人数) ハンドベル？ 楽器 大…ダンス(大人数)、バレエ、合唱、プラスバンド それぞれどのくらいのニーズがあるか分かれば必要な数も分かってくるかと思えます／バレエのバーと鏡一面のお稽古室がないと。オーディオ機器付きまで／バレエ・ダンス等でバー付き、鏡付きスタジオ、床リノリウム付き／伝統芸能のお稽古が出来る環境

【支援系】無尽蔵の活動の中で気軽に集まれるカフェのようなものがほしい。アートカフェギャラリーかも！／施設、予約ナシで自由な時間に使えるミーティングルームを(会議室兼用も可)／パソコン等のインターネット施設の利用／事務室に市民をいれるのは利用者の個人情報書類もあるので危険。専用の活動、打合せスペースはあったほうがいい。／ミーティングルーム ※アート、カフェ、ギャラリー ※会議室小 2 コ／登録団体のロッカールーム／サポセンとは違う、この施設を利用する人、団体の名簿づくり。利用者、ミーティングルーム etc／小規模な打ち上げが可能な飲食用の部屋を

【付属諸室】大ホール、小ホール、展示室のそれぞれの搬入口／楽器の保管庫を(有料で可) 是非入れて欲しい！！／楽屋 和室は絶対必要です／大小ホールに問わず楽屋スペースにトイレは作って欲しいです。／カフェはハーバルカフェにするとリラックス＆ヘルシー！(私やりますよー(笑))

【運営】施設の利用料は原則全て有料→ここから料金を区分していく方法、割引、無料等／ホール運営をするための財団や部署(常駐経営)を設けて！／運営は今からスタートできるのでは？

【トイレ】女子トイレはスペースがあるなら、洗面台とは別に化粧スペースが欲しい。(洗面台で化粧直しをされると、手を洗えない人が詰まってしまうので)

【駐車場】大・小ホール及び展示場の概算建坪を算出して駐車場数がどの程度になるか要検討(重要)／決まった範囲、他に決まった条例、あらゆる制約の中でそこを考えながら中身を作っていくことを考える。理想と現実の兼ね合わせ。／ホールとお堀の地下に駐車場をつくりつなげる。

【外観】もう具体的な箱の案(サイズ・デザイン)の話も欲しい。

【景観】外観 小田原城三の丸小との共感／お堀の環境にマッチすること！(ガラス張りは不可)／シンプルな外観で充実した中身。／屋上から城をみる屋上庭園、又、エコ施設を多めに使う／そのサイズの土地の中に建てる建物の面積(サイズ)はおのずと大体決まるであろう。その場合、天地のサイズもおのずと出てくるおもうが、その天地の長さはどのくらい？(地上何m+地下何m?)／こもれびのある広場と東屋。そして次に野外展／前庭のスペース(サイズはともかく)そこでもなんか出来ることを考える(ex:テント張って WS、イベント、バザール、フリマ、etc…)

【エコ】電力 ソーラーシステムを設置も一案(メンテナンスがかかるか?)／文化センターとして文化の発信地、小田原のエコカーの駐車場／エコ配慮の施設とする 21 世紀の必須条件と思う／トイレでもエコ対策を！！／インフォメーション様にその電力は風力発電！プロペラをアードにしたら！／屋上というスペースを上手に使いたい。ガーデン、ソーラーパネル etc…。エコな感じのスペース／風力発電のプロペラがアートであったら！屋外に展示(インフォメーション)／雨水をためて利用する

【防災】津波の避難場所 ・帰宅難民対応／避難誘導、緊急時の対応がきちんと出来るスタッフが常駐していること(スタッフの研修が必要)／避難者の受け入れどうするか。緊急時の対応をきちんと決めて、混乱のないように(市レベルできめなくてはいけない)

2 班

赤字だと南足柄のように閉鎖になってしまう／小田原市の可動人口を考慮することが大切だと思う／大ホールにリハーサル室(ウォーミングアップ)のためのスペース／小ホールには楽屋・リハ室兼用で良い。防音できる／楽屋等にバリアフリー十分な考慮を／バンド系スタジオは別の施設で良い／400 m²を平場にしておいてその他の機能はパーテーションで／災害時に広くつかえる設計も／名の付かないフリースペースの方が良い。／守っていく文化⇄育てていく文化「〇〇のまちへ」／今の文化活動か未来の「〇〇」のまちへか／庭園設計は設計図の初期段階から公園全体の景観と合わせて／前庭、防災上なるべく広いスペース／鎌倉(藤沢?)に新しくできた武田の設計所は、全て津波の高さや向きを計算されて作られています。

3 班

【大ホール・オペラ】やりたいオペラ フィガロ、魔笛、椿姫、ヴェルズモ 1 幕物 オルフェオ ヘンゼルとグレーテル アマールと夜の訪問者

【小ホール】小ホール 音楽と演劇の両立、くれぐれも／小ホールは固定式で音響の良い本格的なものが良い(藤沢以西で唯一のもの)／第 2 小ホールはリハーサル室とし、マルチスペースで平土間客席や舞台を自由に配置することが出来、多彩な演出が可能、発表会やコンサート、演劇、展示など幅広く対応できる。練習室としても利用できる。／大ホールにしても小ホールにしても十分なバックヤードが必要だと思う。

【展示室】展示室を何に使うか ①洋画 ②日本画 ③書道 ④写真 ⑤商業美術 ⑥水彩 ⑦彫刻 ⑧オブジェ ⑨工芸全般 ⑩陶芸 ⑪華道 ⑫茶道 ⑬伝統工芸 ⑭コンテンポラリーアートとすると…／展示室は小さくてもコンベンションルームと考えれば展示専用が相応しいかも。／展示室の天井高は高ければ良いとは思えない。冬と夏の温度管理をしっかりできるほうが快適な鑑賞が可能だろう(温度対策)／展示室は美術館の機能を要求するには無理がある。／200 m²バックヤード、インターネット配線、プロジェクター(天井から吊せる)、400 m²、天井高 4m／市民ギャラリー真白なカベの大きな部屋／展示施設は市民ギャラリーの名称にしてほしい。／西相展 10 月 市展 5 月 スケジュールかち合い大丈夫そう／展示ギャラリーは市民ギャラリーの名称にして欲しい／☆呼称「プレゼンルーム」or「コンベンションルーム」／展示はどこでも出来るというわけではない。背景となる壁面の仕上げが重要。従って小ホールでの展示は良くない。／現在の市民会館小ホールを改装して展示スペースにしたらどうか？

【リハーサル室】リハーサル室は第一に大ホールのイベントにて特化する空間であって良いと思う。スケジュール組みによってリハーサル室のみの使用やギャラリーとの同時利用が出来ると良い。★大ホールで大人数が動くイベントは大きな控えの空間が必要だから

【創造系施設】創造系施設での活動が通りから見える「にぎわってなあい」／練習室は防音両方出来るか？／練習室も密室でなく、外部からのぞけるオープンな雰囲気が良い。／会議室という名称はやめる／作業室、打合せ室、ワークショップ室／奥行 45cmの折畳み机は使わない／キャスター付き机の奥行は 60cm／打合せ机は 10 人が座れる檜橋机／部屋の周囲に奥行 60cmの作業台を作り付け(2～3 室)／学校の教室方式はだめ(フリースペースにキャスター付き机で対処)／無線 LAN 設置／薄型 TV 設置(プロジェクター代わり)／主催者室はこれで兼用／打合せや簡単な稽古等を通りがかりの人々がショーウィンドウ的に見られる空間があると良い。閉じていない施設。／練習室、アトリエ、会議室、ラウンジ 利用者が気持ちよく創作活動を行うことが出来るスペースを／タテヨコ比は 1:2 タタミ 1 畳 1:2 タタミ 2 畳 1 タタミ 3 畳 1.5 タタミ 4.5 畳 1 タタミ 6 畳 1.33 タタミ 8 畳 1 A4 1.41／打合せの部屋 ・会議室 ・ワーキングスペース ・フリースペース(テーブル、イス)／現市民サポートセンターを移す

【交流系】共通ロビーはどの方向に面しているのか、もしお堀端の方向ならオープンロビーなども良いかも エントランスとする／レセプションルームが必要 100 人程度が交流できる、小規模だが天井の高い、拡張ある心地良い空間で／打ち上げパーティー、ミニコンサートなどにも使用出来る

【広場・景観】ホールの前面(堀端に面する所)は何車道より 30m位後退するようだが、ホールから見て借景として利用できないか／広場はミュージックストリートを毎日+オープンカフェ／スケールに関係なく毎日何かやってる市民ホール！／カフェ(異食)多く作ろう／バーもいります／海のみえるバー／ホール全体を巡る道に出来る限り素敵な案内指示塔を設置したい／ラウンジをイメージしたカフェをお城が見える方角につけてほしい

【景観】海のみえる場所を確保してほしい／高さで景観は基本構想案で可

4 班

【大ホール】ピアノは大ホールだけでなく、ロビーや展示室にも移動できるようフラットな設計にする。／大ホール、小ホールにはリハーサル室を使いやすいところに設置する

【小ホール】固定席 300 席

【リハーサル室】120 m²／大ホールと小ホールに付随する本番前のリハーサル専用。／若者のイベントが練習できる場所／ピアノのある楽屋／楽屋は大ホールと小ホールそれぞれ別に設けることが必要だろう(同時開催の事を考慮)／リハーサル室は、リハーサル、練習として使う。

【マルチスペース】300 m²／小ホールは演劇と音楽が両方できるものをつくる(今、音楽利用が多いからという理由は関係ない)／打ち上げをする場所がほしい／マルチスペースは打ち上げ、創造の場。何をしてもいいスペース。食事ができる、汚してもいい場所／若い人が気軽に楽しめる防音スタジオを、4 部屋はいる。／レセプションができるスペース／飲食もできる場所としても使えるといい(打ち上げ)／大ホールの舞台リハーサルとして使用可能なスペース／交流スペースとして多目的ホールでは簡単なパーティーができるようにしたい。／マルチスペースは音楽・演劇の発表会として使ってもいい／マルチスペース(大ホール舞台と同じ大きさ)と練習室、教室、防音／マルチスペースに可動観覧席は必要ない。必要に応じてイスを置けばいい。その倉庫が必要。

【展示室】400 m²以上 バックヤード 200 m²／展示室、展示スペース 400 m²+バックヤード 200 m²／企画展ができるような広さの展示スペース／平面・立体・映像など多様な展示可能なスペースとしたい／専門家による計画的な運営をしていく／今度の多様な展示活動の為に十分な広さのバックヤード(三ツ山案)の 400 m²に対して半分／展示と音楽がコラボできるようピアノが入るようにしておく(=バリアフリー)

【その他】市民が自由に使えるスタジオ(音楽・演劇・バンド・太鼓)4 部屋は必要／企画創造室／ロビーで生演奏を聞きながらお客さんにくつろいでもらえる ・作品を見ながらピアノ演奏を聴いたらスバラシイ！！／若い人が集える機能が大切(ホールの利用を広げる層の育成)／小田原の自慢できる景色を楽しんでもらえると良い 海、お城／1 階にオープンカフェがあるといい。／駐車場はホールから近くなくても安価で使える場所の確保はできないか。／市民活動の場となる「サポセン」の機能を設けてにぎわいを／同日に他団体が出演する時は楽屋→舞台などの移動時に混乱しないように動線を考える。

☆☆☆ひとことアンケートの一部をご紹介します☆☆☆

・4班のマルチスペース：市民が何に使ってもよいスペースというのは、よい考え。・3班のオープンカフェ：にぎわい、外からホールを見るという考え、賛同。・2班のリハーサル室等の室の名称の固定化にまどわされないに、賛同。・1班のエコ、防災、非常時を考えていくに、賛同。常に思うのが、この立派に作るホールを誰が運営、事業企画するの？できてから決めるの？／話し合いを重ね、かなり具体的な市民ホールの姿が見えてきた。「広く市民が集い、若い人たちにも親しまれ、企画で外部に発信することで、町に活気が生まれる」市民ホールが文化創造の拠点となるような気がします。展示スペースの400m²確保。展示スペース外に200m²のバックヤードは確保したいと思います。／ホールロビーが「にぎわっている」状況とホールそのものに人が来ていると「にぎわい」は同じとする意見があるが、おかしい。ホールの「にぎわい」は基本的に「ホール」運営企画次第でロビーが「にぎわい」とは「ニゲ」の対案では？／議論も大部につまってきたように感じます。もうすこし諸室について話し合った方がよいように思います。

☆☆☆第6回市民ホール基本計画市民検討委員会☆☆☆

日時：11月6日(日曜日)

午前10時から12時30分

場所：小田原市役所3階全員協議会室

「市民ホール・運営や組織を考える！」

ミニレクチャー：桑谷委員